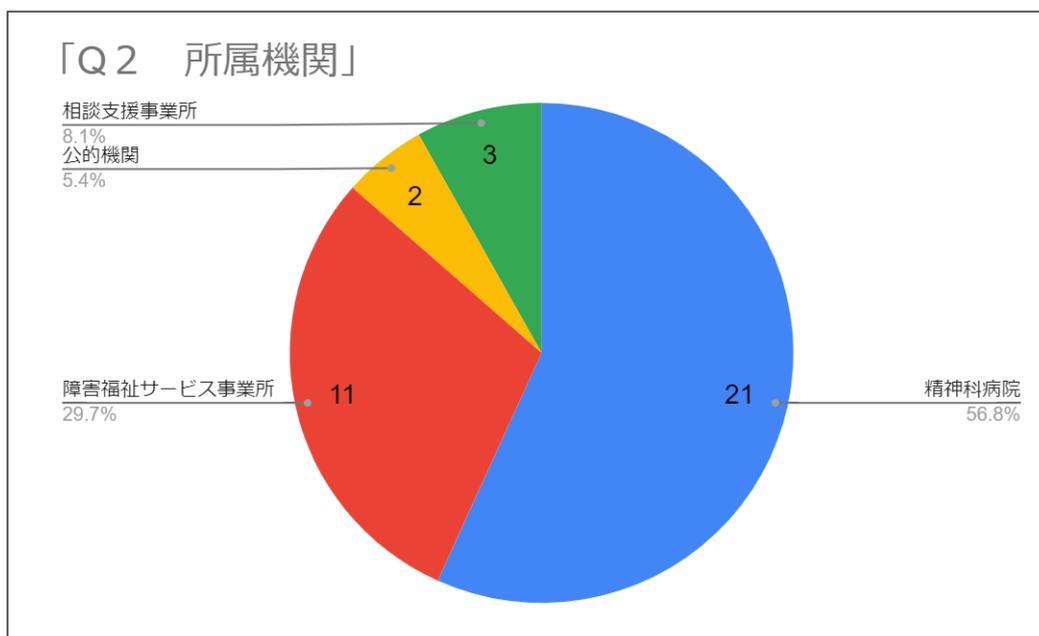
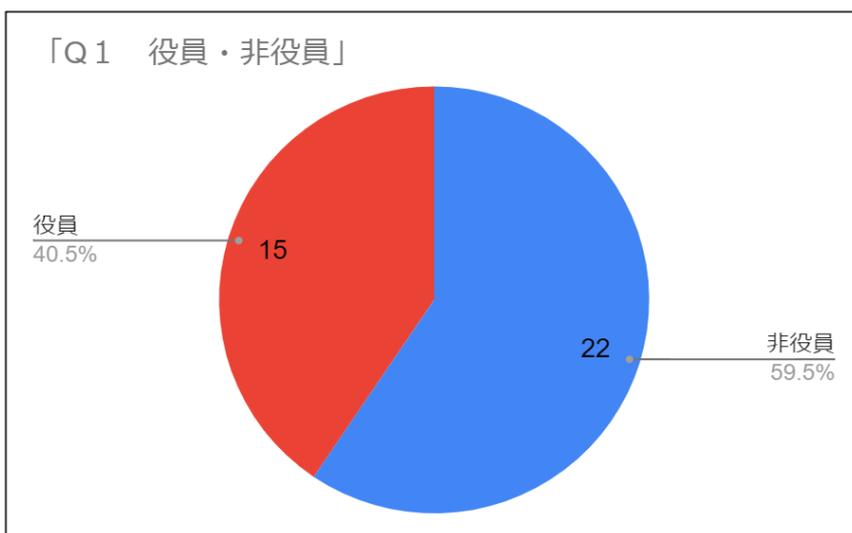


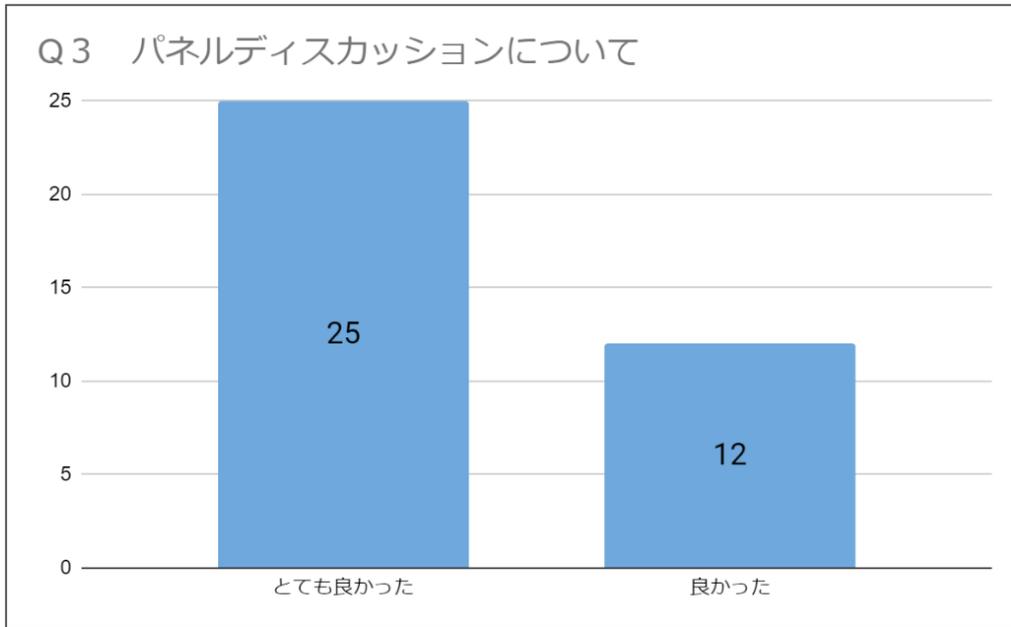
令和4年度三重県精神保健福祉士協会 総会

記念企画 アンケート結果

2022.6.26

○ 回答者数 37名

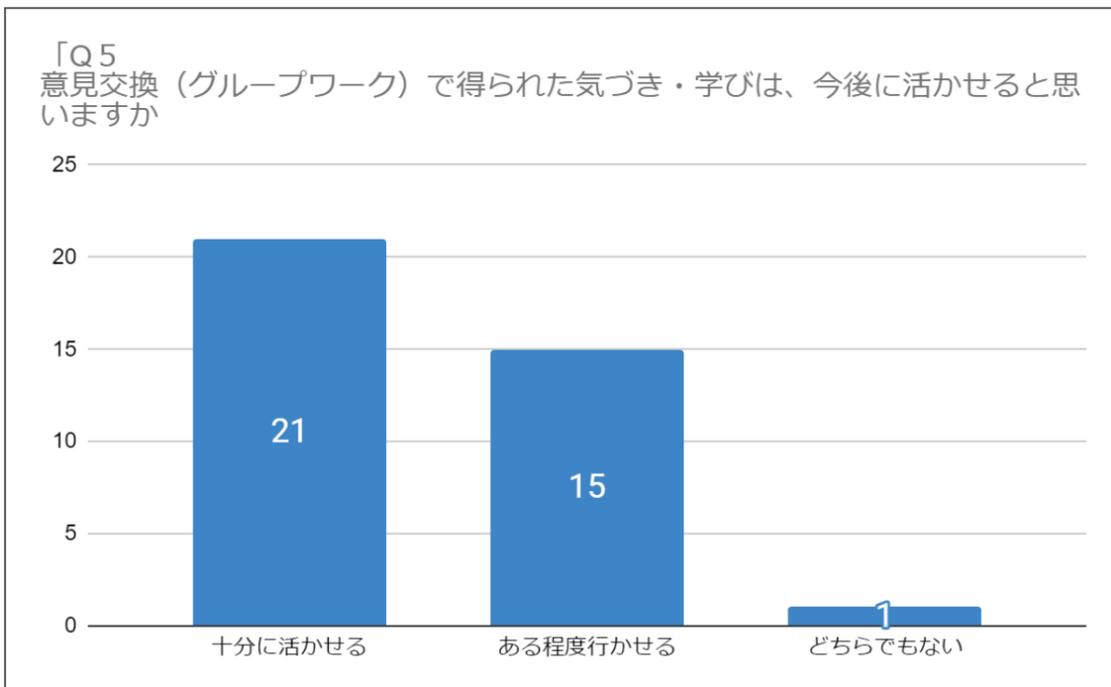




Q4 パネルディスカッションについて率直なご感想等をご記入ください。

- 話しやすい雰囲気でした。病院での葛藤等知らない事も聞いて色々考えることが増えました。
- ジレンマばかりの仕事であることが共感できた。病院と地域が相互理解を深めることが重要だと感じた。
- 先輩たちの話に共感できる部分があること、なるほどなあと思える部分があり、話を聞いて良かったと思いました。
- 多くの皆さんが利用者の有益のために、苦悩や苦勞を抱きながら日々自身の職責を果たそうと努められていることを知ることができ励みとなった。
- それぞれの立場での色々な想いが聞いてとてもよかったです。
- 地域の方の実践のジレンマが聞いて、共感できる部分があったので、自分が思っていることを他の PSW も抱いているんだと再確認できて、良かったです。
- 色々な方と話せてよかった
対面でディスカッションできる日が早く来るといいなあと思った
- 経験値を問わず、クライアントと向き合う中で、組織や制度、関係者との間でジレンマを感じることはごく自然のことで、それをどう振り返り実践に活かすことが大切なのだと実感しました。
- あれだけの人財なので、パネルディスカッションだけでもおもしろかったと思います。牛場助教の顔色が悪そうに見えた。(カメラのせい?)

<ul style="list-style-type: none"> 辻さんの熱い想いを聴けて良かったです。 あと瀬古さんの「ミルフィーユ効果」は素晴らしいので広めましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 同じ協会のPの仲間の皆さんがジレンマを抱え、そのジレンマを抱え続けること PSWの価値観として大事なことを振り返ることができました。
<ul style="list-style-type: none"> 時間が足らなかった。
<ul style="list-style-type: none"> 「誰のための支援」なのかを考え直すことができてよかった。 病院・地域、それぞれの職場で支援に対する捉え方は違えど、それぞれの立場・価値観を伝えることが大切だと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> もう少し話しているテーマをわかりやすくしてほしい。例えば、口頭のみなので、紙面での（情報）説明が欲しい。あと、牛場さんに参加していただいたのに、あまり存在感がなくて、もったいなかった。
<ul style="list-style-type: none"> パネルディスカッションの方が言われていた「ジレンマがあるからこそ、問題を乗り越える力も身につけられる」という言葉が私にはすごく刺さり、納得することができた。その時は辛いこともあるが、自分のためにも問題から逃げないようにしようと思った。
<ul style="list-style-type: none"> 働いている分野によって葛藤は違えどもPSWにとって大切な事は同じであると感じた。
<ul style="list-style-type: none"> パネラーの一人として、いい機会をいただき感謝です。瀬古さんの語彙力、かなりのインパクトの気づきでした。自分から、ぶっちゃけを伝えることで少し整理ができたこともあったが、お互いのジレンマを知ることからそれぞれの立場を理解したり、「本人主体の、顔の見える関係づくり」を以下に構築していくかを考える機会となり、とても有意義でした。「よりよい連携のために、情報交換の場」という話には、どこかコロナ禍を理由に出来てなかった数年間を猛省しつつ、目の前の一つひとつのかかわりを大事にしようと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> 病院側と地域側の考えが分かりやすかった。退院前カンファを形式的ではなくptも含む双方の不安点を解消察せないといけないと思った。

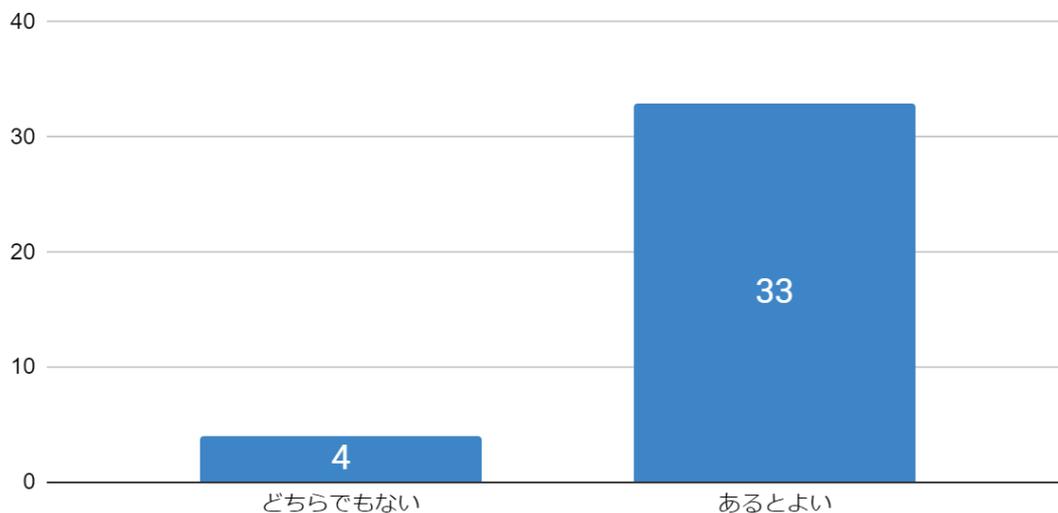


**Q6 意見交換（グループワーク）で印象に残った内容など自由に聞かせてく
ださい**

- 病院内での葛藤や敷居の高さをどうしていくのか。地域と病院の連携。お互いによくわかっていないことが意外でした。
- 繋がりを作る役割（病院と地域、病院と施設など）と話されたことがその通りで病院と施設の発想がありませんでした。（病院が上、と感じていたため）
- 本人が当たり前の生活ができるように支援していくこと。関係者と情報共有して、アセスメントや見立てをしっかりと伝えていくこと、お互いに頼ることが大事だと話し合いました。
- 自分の抱える（抱えていた）ジレンマについて振り返ることはあっても、それについて他者と語る機会はなく、貴重な時間でした。所属は違っても、共感できる、共感してもらえることは貴重だなと感じました。”PSWだからこそ”な企画だったなと思います。
- 当グループでは病院関係に従事されている方が多く、病院PSWの方が抱える課題・問題点を知ることができた。どの病院においても「本人と家族の意向の違い」「個別対応の課題」など、福祉分野と共通する部分が多々あり、皆さんが様々に葛藤されている現状を教えていただくことができた。

<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の方が地域での生活の様子を聞かせてほしいとあり、こちらからも入院に至るまでの経緯以外にも本人についても情報提供をしていくことを意識しなければいけないと感じた
<ul style="list-style-type: none"> 顔の見える関係がケースを含めて関係者のためにもなるということです。
<ul style="list-style-type: none"> 病院、地域との相互理解ができる機会になりましたので、このような企画があると参加者も増えると思います。
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの立場で日々クライアントに向き合いながらジレンマを感じていても、利用者第一に互いの顔がみえる関係性を大切にしていこうという思いが共有できてよかったです。
<ul style="list-style-type: none"> 志の近い方ばかりでしたので、ネタはつきませんでした。GWだけでもよかったかも。
<ul style="list-style-type: none"> このグループは病院と地域の分断がない、普段から良いネットワークを作っていることが伺える雰囲気でした。
<ul style="list-style-type: none"> 元気を頂きました。それぞれ違う立場のPSWですが、それぞれの悩み、ジレンマを聞くことができました。それぞれのことを想像できるPSWでありたいと思いました。それは地域、本人、家族、それぞれの違う立場の違う考えの中でも常に想像できるPSWであることが大事だと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> 顔の分かる関係づくりが大切
<ul style="list-style-type: none"> サービスや担当者が変わるタイミングにクライアントが困らないよう日頃の情報共有が大切だと学んだ。
<ul style="list-style-type: none"> いつもですが、ファシリテーターに対する説明が「お任せ」感が強く、研修なのに各グループのファシリテーターによって差が出る感じがするため、もう少し統一感（ファシリテーターへの指示）を出してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 経験が浅く、相談できる同職種も少ないため、「自分だけが悩んでいるのではないか。」「考えすぎなのではないか」と思い込んでしまっていた。しかし、ほかの人も同じように悩んでいるんだと思えたことで気持ちが軽くなった。
<ul style="list-style-type: none"> 初のグループワークで緊張しましたが、とてもいい機会でした。
<ul style="list-style-type: none"> 「現状を調整していくと、正しいことを正しい、と言えない」との発言が印象的でした。当事者の声を聴きつつ、自分の価値観や経験から、ついこの方向が正しいのではないかと思い込みながら、支援している自分を再認識できました。
<ul style="list-style-type: none"> 受け皿である地域のみなさんご意見を聞くことができ、勉強になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 仕事の押し付け合いにならずに役割分担が必要だと思った。地域のptの「主体的」な支援者は誰なのか、地域に出てみないと分からない部分もあるかも知れないが

「Q7
今回は、様々な領域同士での意見交換でしたが、同領域での集まりや意見交換の場があるとよいですか？」

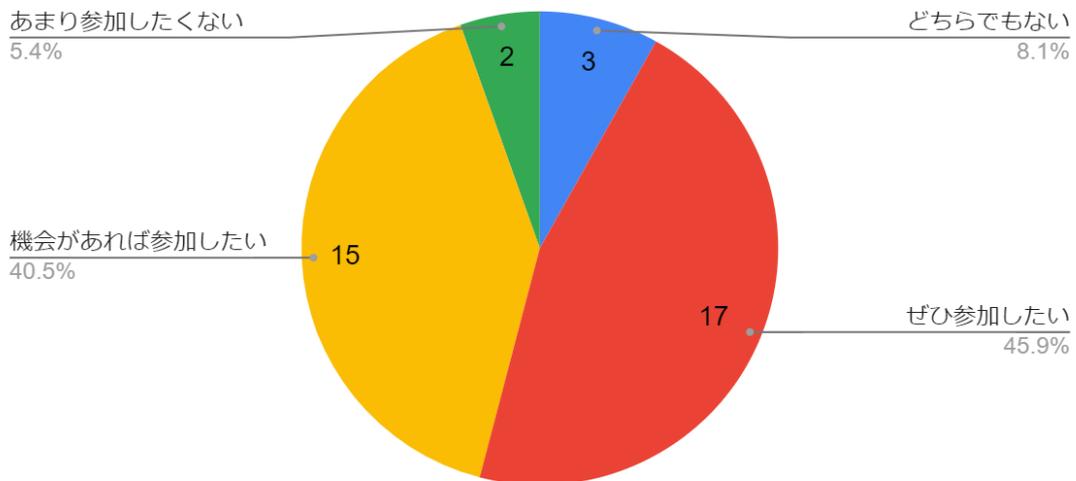


Q8. 日ごろの業務や実践のなかで、精神保健福祉士として不安や抱えている課題について教えてください。また、悩みや課題解決に対して、三重県精神保健福祉士協会に希望することを教えてください。

- 様々な人との関わりの中でどのように接していくのか。会社員としての立場と支援員という立場の違い（出席率とか送迎等のサービス提供など）
- 多職種の中で働く中で、自分の専門性ってなんだろう、と考えることがよくあります。
- 今回のディスカッションでもキーワードとなっていた「誰のための支援か？」
「何のためにそれを行うのか？」など、日々の業務のなかで痛感することがよくある。今後も様々に共有させていただける機会が有難く感じます。
- 資格保有者以外の方とも一緒に働いています。資格を持っていない方に対して、専門的な視点をどのように伝えたらよいのか悩むときがあります。
同じ境遇の方がいたら、悩みを共有できたらなあと思ったりします。
- 制度の変化の中で精神保健福祉士以外の職種（無資格の方も含む）とかかわる機会が多くなりました。共通言語や認識も異なる状況で、同じ目標に向かう手段についてが今の課題です。
- 精神保健福祉士として活躍しているのに、未加入。
- 当事者主体とそうはなっていない制度。制度改革への働きかけ。

- PSWとして活動する裾野が広がり、情報も多岐にわたり、情報を収集することも難しく（調べ方・時間的）なってきたため、協会から簡易に情報提供してもらえると助かります。
- 私の職場には精神保健福祉士が私しかいない上に、私自身の経験年数も浅いため、精神保健福祉士で事例検討が定期的にできる機会や特にテーマの決まっていない場での交流を行い、相談できる人を増やしたい。
- 自己の支援業務の振り返りやケース検討の機会がもっと必要と思うが…現状困難
- コロナ化で直接的な交流が減り、相談をしにくい環境となった。
- 今回の意見交換のような場を作ってもらいたい。もしくはきっかけが欲しい。
- 今回のパネルディスカッションのように、同じ精神保健福祉士でも、立場や職種によって、かかわり方の違いがあると日々感じている。当事者の思いに寄り添うためにも、ワーカー同士の顔が見えて、お互いの意見を交わす機会づくり。
- 家族が拒絶的なケース。退院に向け「強引さ」が必要だと思うこともあるが、難しく「社会的入院」となることがある。

「Q9 今後、三重県精神保健福祉士協会の活動に参加したいと思いますか」



Q9 の理由

○あまり参加したくない

- 人に気を遣う性格のため。
- 4回に1回程度参加すれば良いかなと思います。休日に参加してまで、出れなくて残念と思えるような研修がない。
最近の研修は、内容は様々に見えるが、結局は結論がいつも同じで、大事なことを言っているのはわかるけれど飽きてきた。もう少し専門的または知識や技法を学ぶ研修があっても良いのではないかと思った。

○どちらでもない

- なかなか生活上余裕がなく、活動の重要性は認識しつつも、参加出来そうにないため。
- 活動内容によるかなあと考えてます
あと、業務が忙しい時は気持ち的にも余裕がなくなるので、自分の気持ちと相談しながら参加していきたいです

○機会があれば参加したい

• オンラインは苦手なので。がんばります。
• なるべく参加させていただきたいと思います。
• 色んな方の実践の話を聞いていきたいから
• 自分の経験では役目がないように思います。
• 年が年なんて・・・体力面で不安が・・・。
• 自分の支援について振り返るきっかけがほしいから。 また、多職種の方の考え方を学びたいから。
• ネットワークづくりと自己研鑽
• 自己研鑽、つながりのため。

○ぜひ参加したい

• 施設や病院についてほとんど知らなく繋がりもないので参加して増やしていきたいと思います。様々な意見や考え方を知り支援の選択肢を増やしていきたい。もう少し欲を言えば見学とか体験ができれば・・・。
• しっかりと自己研鑽していくため
• 横のつながりができるから。他の頑張っている PSW に刺激をもらえるから。
• 日々の活動の振り返りや情報共有につながり、顔のみえる関係性を深めたいからです。
• ライフワークと思っています。
• 少しでも横のつながりを作ったり、三重県の精神保健福祉領域について知っていくため。
• 普段の活動の中での学びもあるが、精神保健福祉士としてのソーシャルワークを、自分の中で核としていきたい、と感じているから。

Q11. 三重県精神保健福祉士協会の取り組みや今後の方向性等について、ご意見等をご記入下さい。

<ul style="list-style-type: none">・ ヤングケアラーなどの新しい分野で何とかできれば・・・。スクールソーシャルワーカーとの連携や学校との連携など。
<ul style="list-style-type: none">・ しっかりと意見を吸い上げてもらえるような協会であってほしい
<ul style="list-style-type: none">・ 一般的な感覚とずれが生じないように、「当たり前な生活」ってどういうことなのか？生きづらさを抱える方が当たり前な生活を送るためにはどのような視点や行動が必要なのか？といったPSWに求められる基本的事項等を実際の事例を交えて学んでいきたい。
<ul style="list-style-type: none">・ もう少し幅広い年齢層が参加できると良いと感じる。
<ul style="list-style-type: none">・ 今後ともよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍の中で機材を整える等、工夫をしていただき、ありがとうございます。まだまだ現状は厳しいですが、zoomによる研修を今後も続けていただきたいです。
<ul style="list-style-type: none">・ 30代以下の若い世代に頑張ってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none">・ 会員が「お客様」にならない組織づくり。
<ul style="list-style-type: none">・ 事務局や役員を担っている皆様、ご多忙であるにもかかわらず、ありがとうございます。事務局の負担が減るよう業務改善をされている今回の議案は良かったと思います。事務局をされた田中様ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none">・ 当事者に寄り添い声にならない声の代弁者として
<ul style="list-style-type: none">・ 協会に所属する意味やメリットを明確にしてほしい。実際に協会が現在やっていることがわからない。また、今後の方向性や展望が見えないので、意見も出せない。
<ul style="list-style-type: none">・ 若手部会のようにラフに参加できる機会を増やしていただけたら、業務で困ったことをすぐに相談でき、精神保健福祉士としてのかかわりについて助言いただけるような場があるとありがたい。
<ul style="list-style-type: none">・ コロナで意見交換の場が作りにくい、顔のみえる関係を作れるような場が設けられるとお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none">・ とても満足しています。今後もこんな感じでお願いします。
<ul style="list-style-type: none">・ アウトリーチ、思春期・不登校、8050・ひきこもり、とそれぞれの働き方が、個々で行われてはじめているが、なにかしらの啓発活動や、連携をしながら地域のメンタルヘルスにつながっていくことを考えていきたい。特に制度からこぼれるグレーの方へのかかわりについて、意見交換したい。
<ul style="list-style-type: none">・ 今後ともお願い致します
<ul style="list-style-type: none">・ このままで良いと思います。

Q12 今後の例会、研修会等でどのようなことを期待していますか？ご意見等をご記入下さい。

<ul style="list-style-type: none">精神保健福祉行政施策（国の委員会）の情報や診療報酬、サービス報酬改定に関する最新情報のみの勉強会などがあると、いいなと思います。
<ul style="list-style-type: none">今回のような言いたい事を言い合うのは良かったので今後もお願いします。あと、コミュニケーション能力を磨くような研修もあればいいかも。
<ul style="list-style-type: none">様々に勉強できる機会があることが有難いです。
<ul style="list-style-type: none">重曹的相談支援の事例について、トラウマインフォームドケアについての研修会
<ul style="list-style-type: none">精神保健福祉士以外の人との交流会も検討して下さい。
<ul style="list-style-type: none">自分の地区以外のところがどんな活動をしているのか知りたいです(県外もあり)
<ul style="list-style-type: none">今回のように最初に課題につながるような提案をしていただき、グループワークに繋げる研修を時折行っていただきたいです。
<ul style="list-style-type: none">ズームを使った勉強会。グループワーク無し。（恥ずかしいから）
<ul style="list-style-type: none">会員間の交流は大事だと思います。
<ul style="list-style-type: none">会員間の交流 他地域の視察旅行
<ul style="list-style-type: none">研修会をよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none">制度や社会資源について学びたい。
<ul style="list-style-type: none">協会独自(協会の人脈を活かした)の情報(制度の変更や県内外で起きている関係分野のこと)をリレーメッセージやホームページなどで分かりやすくして、発信してほしい。 全体研修はもちろん続けてほしいが、世代別(経験年数別)の研修は行ってほしい。 同世代(経験年数)で集まったりしてみたい。
<ul style="list-style-type: none">会員間の交流、基礎的な業務の研修
<ul style="list-style-type: none">経験年数に分けた勉強会、意見交換会、交流会。
<ul style="list-style-type: none">グループリーダーの辻さんが1人ずつの話をよく聞いてくれてよかったです。今後もこんな感じでお願いします。
<ul style="list-style-type: none">会員間の交流として、事例検討。また、地域の中で協働していくためにも、地域住民も巻き込んだ勉強会も創っていききたい。
<ul style="list-style-type: none">今後も顔の見える支援者同士の関係のため Zoom や meeting の交流をお願いします。